

(別紙様式)

小松産業技術専門校 中期経営目標

(実施期間 令和5年度～令和9年度)

令和5年3月 策定

1 施設の設置目的

「職業能力開発促進法」に基づき、離職者及び在職者に対し、それぞれに応じた職業訓練を行い、時代のニーズに合った実践的技術・技能者を育成することにより、職業の安定と労働者の地位向上を図るとともに、地域産業界に寄与することを目的として設置しています。

2 施設の果たすべき役割

南加賀地域における職業能力開発の拠点施設として、離職者の就職支援や在職者の技能向上に向けた職業訓練を行っています。

3 事業内容

(1) 離職者訓練

再就職を目指す離職者を対象とした職業訓練及び再就職支援を行っています。

- ・溶接科（6か月訓練 定員10人（年間20人））

溶接・切断作業、溶接ロボットの操作等の技能及び関連知識習得のための訓練を行っています。

- ・自動車整備科（1年訓練 定員20人）

自動車整備を行うために必要な技能及び関連知識習得のための訓練を行っています。

- ・情報ビジネス科（6か月訓練 定員15人（年間30人））

簿記会計の処理能力及び一般事務等の知識並びにOA機器の基本的な操作方法等の技能及び関連知識習得のための訓練を行っています。

- ・生産設備製造科（6か月訓練 定員10人（年間20人））

生産現場等での機械の自動化及び省力化に必要な生産設備制御機器等の技能及び関連知識習得のための訓練を行っています。

- ・CADオペレーション科（3か月訓練 定員5人（年間15人））

三次元CADを用いて、図面作成についての操作及び機械製図等の技能及び関連知識習得のための訓練を行っています。

(2) 在職者訓練

在職者訓練センターを設置し、主に南加賀地域の企業で働く在職者を対象に機械系を中心に自動車整備や情報リテラシー、生産・品質管理等の幅広い分野において、企業ニーズに対応した技能向上のための在職者訓練（在職者セミナー）や熟練技能を継承するための職業訓練（石川モノづくり技能継承塾）を行っています。

4 現状と課題

(1) 離職者の支援について

近年、雇用情勢の回復により、職業訓練を受講せず再就職を目指す離職者が増加しているため、入校率が減少方向にあります。

訓練内容については、訓練期間終了後に企業の即戦力となれるように実践的な訓練を行っており、入校状況や企業ニーズ等を把握しながら、現在、現場で主流となっている作業方法を実習に取り入れるなど、訓練内容や科目の見直しを行い、効果的な訓練を行っています。

また、就職を支援するため、ハローワークと連携を密にし、求人情報を収集するとともに、企業と連絡を取り求人の開拓をしています。

こうした取り組みにより、訓練生の就職率の向上に努めるとともに、企業が必要とする人材を育成するべく、引き続き取り組みを強化していきます。

(2) 在職者の支援について

平成19年から開始した石川モノづくり技能継承塾は令和元年度までに293名が受講しています。企業からは、中堅社員の育成や社員への教育をより充実させる訓練として好評を得ており、今後とも熟練技能の継承に役立つよう訓練内容を充実させていきます。

また、従業員の技能向上のための在職者セミナーを実施しており、これまで非常に多くの企業に利用されております。景気変動する昨今においては、特に企業単位での要望が増加傾向にあります。そのため、今後も多くの企業に利用いただけるよう、より柔軟に訓練を実施し、細かな企業ニーズに応じていきます。

(3) 施設運営の効率化について

施設運営の効率化に向け、積極的な節電（照明・冷暖房）をはじめとした維持管理の工夫に取り組んできたところであり、今後とも、経費の節減・効率化に努めていくこととします。

5 中期経営目標

(1) 中期経営目標

- ① 離職者就職率：毎年90%以上を目指します。
- ② 在職者セミナー受講者数：5年間で1,200人以上に増加させます。

(2) 測定指標と目標値

測定指標	基準値 (H29～R1 平均)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R9)
① 離職者就職率	88%	90%以上	90%以上
② 在職者セミナー受講者数	925人	1,000人	1,200人以上

6 目標達成に向けた具体的な取組内容

(1) 離職者の支援について

- ・ 訓練生に対して、訓練の理解度や習熟度の向上に向けたアンケートを実施し、訓練内容の充実を図ります。
- ・ ハローワークへの就職あっせん協力の要請や、企業からの求人の開拓を引き続き実施します。
- ・ 訓練生の適性や雇用情勢を鑑みたアドバイスの実施など、今後ともきめ細かな就職支援を行います。
- ・ 就職への動機付けや必要な心構えを訓練中に適宜行い、就職活動時期からは応募書類の作成のサポートや面接対策のセミナーを実施します。

(2) 在職者の支援について

- ・ 石川モノづくり技能継承塾については、アンケート等により企業ニーズを把握するほか、企業訪問等により訓練の成果等を確認し、さらに効果が高まるよう受講生の習熟度に応じた訓練の展開など、訓練内容の充実を図ります。
- ・ 在職者セミナーについては、アンケート等により企業ニーズを把握するほか、これまで行っていなかった分野への企業訪問を行い、訓練内容や訓練形態を見直す等、柔軟に対応し、ニーズに合ったコースを実施します。

また、今後成長が見込める分野等において、新たなコースを設定し、さらに、企業へ出向いて行う出張セミナーについても積極的に実施します。

参考資料

1 施設の利用状況

(1) 利用指標（利用人数、稼働率などの状況）

① 離職者訓練

指標	H29	H30	R1	備考（増減理由等）
入校率	58.1%	51.4%	51.4%	
溶接科	45.0%	35.0%	45.0%	
自動車整備科	40.0%	25.0%	45.0%	
生産設備製造科	30.0%	30.0%	20.0%	
情報ビジネス科	83.3%	73.3%	56.7%	
CADオペレーション科	86.7%	93.3%	100.0%	
入校者数	61	54	54	
溶接科	9	7	9	
自動車整備科	8	5	9	
生産設備製造科	6	6	4	
情報ビジネス科	25	22	17	
CADオペレーション科	13	14	15	
応募倍率	0.68	0.71	0.61	
溶接科	0.55	0.55	0.55	
自動車整備科	0.40	0.30	0.50	
生産設備製造科	0.40	0.30	0.20	
情報ビジネス科	0.90	0.90	0.60	
CADオペレーション科	1.13	1.67	1.40	
就職率	89.1%	87.0%	88.2%	
溶接科	100.0%	75.0%	100.0%	
自動車整備科	87.5%	100.0%	100.0%	
生産設備製造科	83.3%	83.3%	75.0%	
情報ビジネス科	81.8%	80.0%	76.5%	
CADオペレーション科	100.0%	100.0%	92.9%	

② 在職者訓練

指標	H29	H30	R1	備考（増減理由等）
モノづくり技能継承塾 受講者数	15人	17人	15人	
在職者セミナー 受講者数	733人	1,030人	1,011人	

2 収支の状況

（単位：千円）

		H29 決算	H30 決算	R1 決算
歳出	運営費	32,032	35,613	33,852
	職員費	82,224	73,834	76,070
	計	114,256	109,447	74,136
歳入	国庫	33,367	31,684	31,574
	一般財源	79,938	76,875	75,709
	その他	951	888	705
	計	114,256	109,447	107,988

3 利用者1人あたりの一般財源投入額

	H29	H30	R1
一般財源投入額（千円）①	79,938	76,875	75,709
職員費を除いた額（千円）①'	23,878	27,522	25,944
利用者数（人）②※	76	71	69
利用者1人あたりの一般財源投入 額（円） ①÷②	1,051,816	1,082,746	1,097,230
職員費を除いた額（円） ①' ÷ ②	314,184	387,634	376,000

※「利用者数②」は、1年間に在籍した訓練生数（モノづくり技能継承塾を含む）